

平成 24 年度 十和田市立中央病院 臨床研修プログラム概要

① 研修プログラムの特色

二次医療圏の中核病院として豊富な症例を経験し、初期医療、専門的医療、救急医療、緩和ケアを含めた包括的がん医療について重点的に研修を行う。また、慢性疾患や高齢患者およびがん終末期患者の在宅医療、リハビリテーション、社会復帰などについても、総合的な管理計画を立案できるよう研修する。

②臨床研修の目標の概要

新医師臨床研修制度の基本概念に基づき、医師としての人格の涵養に努め、幅広い基本的臨床能力を修得し、頻度の高い疾患や病態およびプライマリ・ケアに対応できる医師を育成する。また、チーム医療の意義を理解し、そのリーダーとしての役割を認識できる医師を育成する。

* 研修の内容及び目標は、臨床研修プログラム（別紙）における到達度の各項目による。

③プログラム責任者の氏名

医療局 診療部長 外科 杉田 純一

④臨床研修を行なう分野並びに当該分野ごとの研修期間及び臨床研修協力施設

	研修分野	期間	研修病院	備考
1年目	内科	6ヵ月	十和田市立中央病院	消化器・呼吸器・循環器内科をローテーション
	救急部門	2ヵ月	〃	連続した2ヵ月で行う。残り1か月分は救急患者、救急車搬入時に優先的に呼出
	選択必修科	4ヵ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科)	外科、麻酔科、産婦人科、小児科、メンタルヘルズ科から2科目以上選択
	選択科		青森県立中央病院(産婦人科)	
2年目	地域医療	1ヵ月	小嶋外科胃腸科医院 十和田市立中央病院 十和田湖診療所	小嶋外科胃腸科医院で1日、十和田湖診療所で1週間、残りの期間は総合診療科で在宅医療等を研修
	地域保健	1ヵ月	上北地域県民局地域健康福祉部 保健総室(上十三保健所) 介護老人保健施設 みのり苑 十和田市立中央病院	保健所1週間、介護老人保健施設1日、残りの期間は総合診療科、地域医療連携室で地域医療を研修
	選択必修科または選択科	10ヵ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科) 青森県立中央病院(産婦人科)	産婦人科の研修期間は実施機関による

※産婦人科の研修先は、研修医が選択することはできない。

備考

- ・選択科は、内科、外科、総合診療科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、メンタルヘルス科、小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科から選択。なお、到達目標に未達成項目がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

⑤研修医の指導体制（平成23年6月1日）

研修分野		指導医	職名	備考
内科	消化器	高井哲史	診療部長	診療科代表
		佐藤守彦	診療部長	
	呼吸器	工藤優	副院長	診療科代表
	循環器	小山滋豊	診療部長	診療科代表
		藤原崇之	科長	
外科		杉田純一	診療部長	診療科代表
		阿部永	科長	救急科長
		設楽英樹	科長	
		小田聡	科長	
麻酔		荒木功	非常勤	
小児科		小田誠	診療部長	診療科代表
		工藤雅庸	科長	
産婦人科		井戸川敏彦	副院長	五戸総合病院
		森川晶子	部長	青森県立中央病院
メンタルヘルス科		谷地森康二	診療部長	診療科代表
		竹内淳子	診療部長	
		河田祐子	科長	
総合診療科	がん総合診療部門	蘆野吉和	院長	診療科代表
		吉村純彦	診療部長	
	総合内科部門	宮川晃	診療部長	
整形外科		田澤浩司	副院長	診療科代表
		菊池明	科長	
脳神経外科		善積威	診療部長	診療科代表
		赤坂健一	診療部長	
		田畑英史	科長	
眼科		関野尹夫	非常勤	
耳鼻咽喉科		藤原文明	診療部長	診療科代表
泌尿器科		寺井康詞郎	科長	診療科代表
		成田直史	科長	
皮膚科		岡田美喜子	科長	診療科代表
放射線科		目時隆博	科長	診療科代表

⑥研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法

- ・ プ ロ グ ラ ム 名 十和田市立中央病院臨床研修プログラム
- ・ 研 修 期 間 平成 24 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの 2 年間
- ・ 平成 22 年度募集定員 6 名（インターネット等による公募）
- ・ マッチングへの参加 有
- ・ 募 集 期 間 平成 23 年 9 月末日まで（消印有効）
- ・ 応 募 必 要 書 類 申込書※・履歴書※・卒業（見込み）証明書
※当院指定様式（ホームページからダウンロード可）
- ・ 面接・病院見学
 - 5 年次修了後の春休み以降、病院見学時に面談をおこないます。マッチング申込をされる方は、この際の面談結果が面接試験結果となります。
 - 病院見学を希望する日時、診療科等をお知らせください。調整のうえ日時をお知らせします。
 - 宿泊施設、見学時の昼食は無料で提供しています。5 年次の 6 月以降であれば、当院の規定に沿って交通費が支給されます（上限 4 万円）。
- ・ 選 考 方 法 面接・書類選考（履歴書等）
医師臨床研修マッチングによる

問い合わせ先

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町14-8

十和田市立中央病院 業務課 図書病歴室 赤坂

電 話 0176-23-5121 内線 2342

F A X 0176-23-2999

E-mail : ken_akasaka@city.towada.lg.jp

ホームページ : <http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

⑦ 処遇

- ・ **給与** 1年次 71.5万円（税込/月額）諸費用天引き前
2年次 73.0万円（税込/月額）諸費用天引き前
- ・ **賞与** 1年次 97.0万円（税込/年額）諸費用天引き前
2年次 150.0万円（税込/年額）諸費用天引き前
宿日直手当は別途支給。その他諸手当あり
- ・ **身分** 常勤の正規採用職員（地方公務員）
※医籍登録が完了する月の月末までは臨時職員
- ・ **保険、年金** 青森県市町村職員共済組合
※医籍登録が完了する月の月末までは臨時職員
- ・ **雇用保険** なし
- ・ **労働者災害補償** 地方公務員災害補償法適用
※医籍登録が完了する月の月末までは労災
- ・ **医師賠償責任保険** 病院加入有り 個人加入は任意
- ・ **宿舎** 単身用、世帯用有り（公舎料4,100円～15,000円程度）
公舎を使用しない場合、住宅手当支給（上限27,000円）
- ・ **勤務** 月～金 8:30～17:00 休日は土、日、祝、年末年始
- ・ **休暇** 年次有給休暇 1年次 13日、2年次 20日
その他、夏季休暇、忌引き、出産休暇（産前、産後）、育児休業、子の看護、子の健診、育児短時間労働制度等あり
- ・ **学会、研究会への参加** 可（旅費を年18万円を限度に支給）
- ・ **当直** 1年次 月3回の副直 2年次 月4回の単独日当直
日当直手当支給
- ・ **健康管理** 定期健診（年1回）、電離放射線（年2回）、各種ワクチン等あり
- ・ **病院内での個室** 個人ブース設置（医局内オープンスペース）

⑧協力病院、協力施設の名称及び研修実施責任者等の氏名 (H23. 4. 1 現在)

施設名・病院名		研修の内容	期間	研修実施責任者	
				指導医・指導者	
協力病院	五戸総合病院	産婦人科	1か月半	蝦名 宣 男	院長
				井戸川 敏 彦	副院長
	青森県立中央病院	産婦人科	1か月	安 保 亘	副院長
				森 川 晶 子	部長
協力施設	上北地域保健 地域健康福祉 保健総室 (上十三保健所)	地域保健	1週間	宮 川 隆 美	保健総室長
				〃	〃
	小嶋外科胃腸科 医 院	地域医療	1日	小 嶋 泰 彦	院 長
				〃	〃
	介護老人保健施設 みのり苑	地域保健	1日	山 本 孝 司	理事長
				〃	〃
	十和田湖診療所	地域医療	1週間	米 田 博 輝	診療所長
				〃	〃